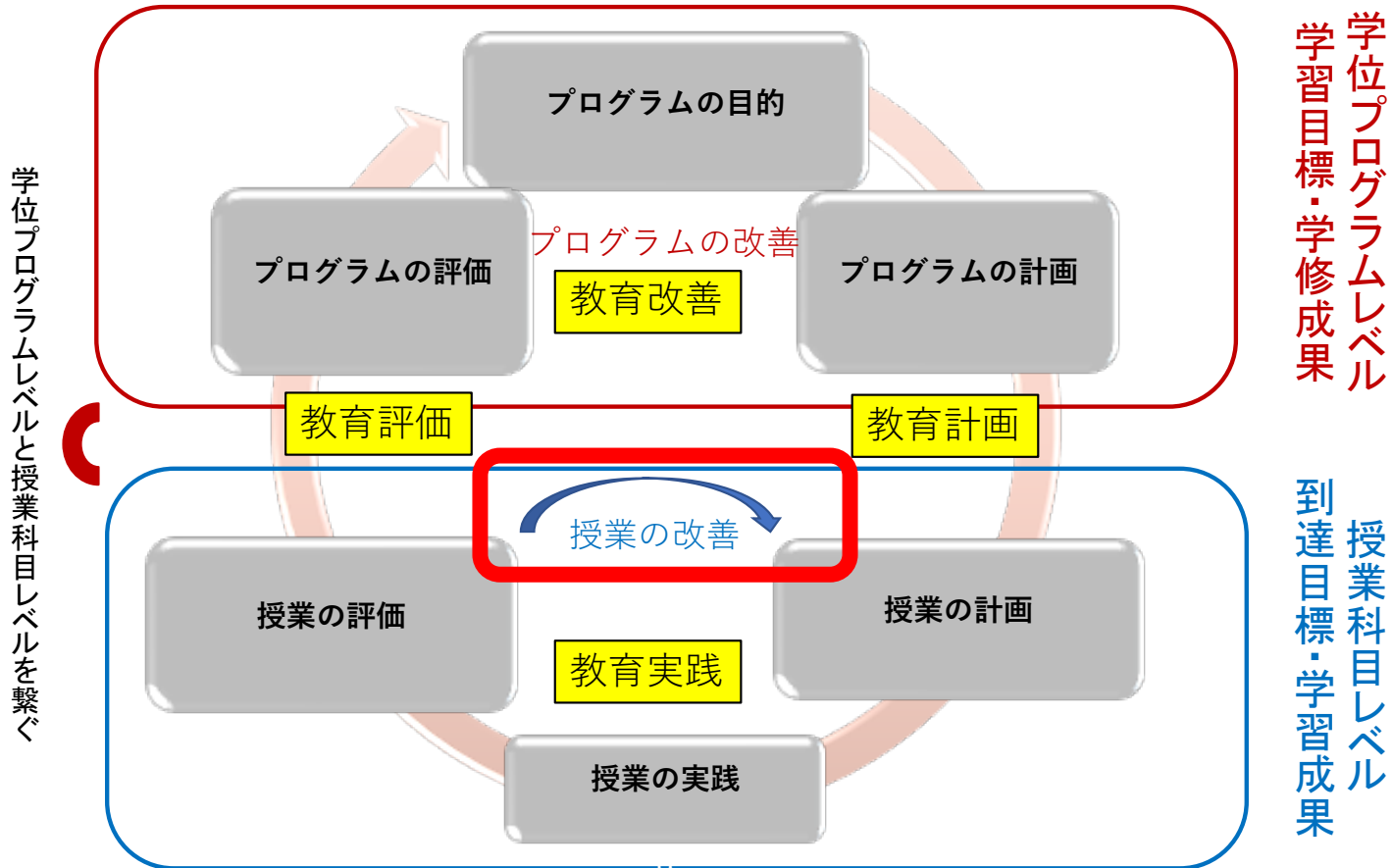


評価結果をどのように 改善に活かすか

今回のスライドは・・・

九州大学教育実践枠組み
“From my course to our program.”



学位プログラムレベル
学習目標・学修成果

授業科目レベル
到達目標・学習成果

評価結果の種類

学生の理解度に関する情報

- 学生に口頭で質問する
- 確認テストを行う
- 中間・期末テストを行う/レポート課題を出す

学生の授業態度に関する情報

- 学生の様子を観察する
- アンケートを行う

教員の授業に関する情報

- 同僚の教員に授業を見てもらう
- アンケートを行う

評価結果をいつ改善に活かすか？

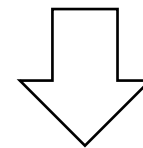
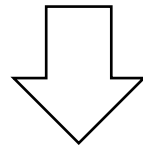
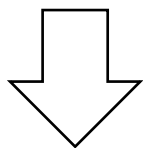
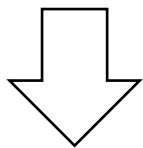
学生の理解度に関する情報

学生に口頭
で質問する

確認テスト
を行う

中間テストを
行う/レポート
課題を出す

期末テストを行
う/最終レポー
ト課題を出す



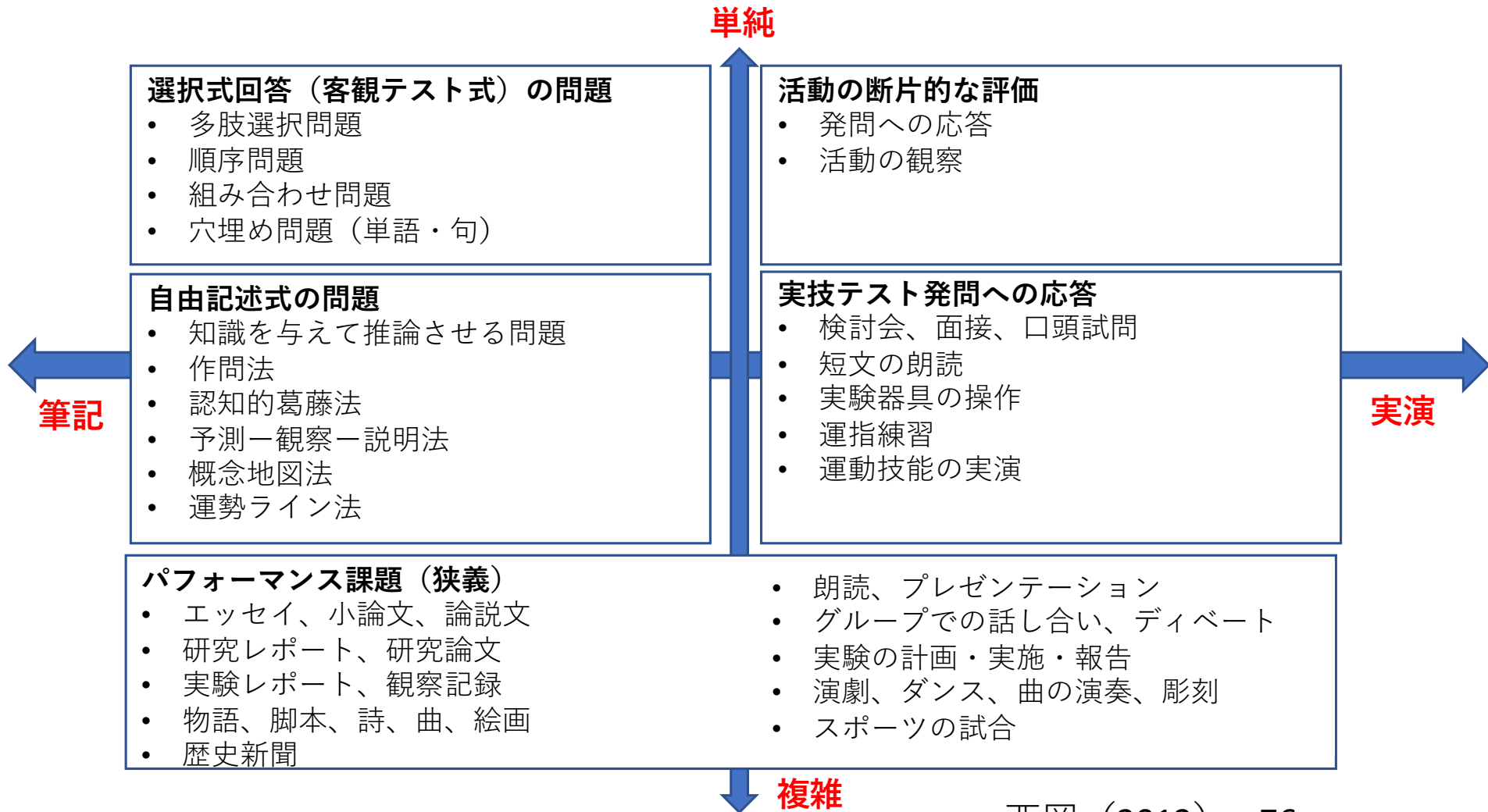
その授業中に
改善が可能

採点の後、
次の授業から
改善が可能

採点の後、
次の授業から
改善が可能

採点后、
次年度の授業
で改善が可能

参考：様々な評価の方法

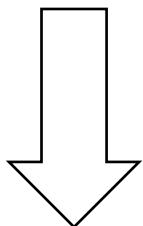


西岡（2012）p.76

評価結果をいつ改善に活かすか？

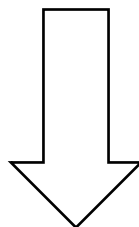
学生の授業態度に関する情報

学生の様子を
観察する



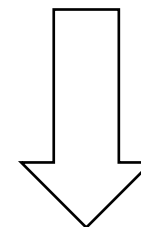
その授業中に
改善が可能

中間アンケート
を行う



結果を集計した
後、次の授業で
改善が可能

最終アンケート
を行う



結果を集計した
後、次年度の授
業で改善が可能

観察の例：

- 学生が起きて授業を聴いているか
- 学生が今課されている学習活動を理解し、取り組んでいるか（指示をわかっているかなど）
- 学生が、教員が示しているスライドを見ているか（BookQでの確認もできる）
- 学生が授業についてこれているか
- 学生がグループに馴染んで話せているか

アンケート項目の例：

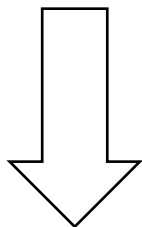
項目カテゴリ	質問項目
計画	<ul style="list-style-type: none">・ 教員はこの授業に対してしっかりと計画・準備していたか？・ シラバスの教育目標は明確か？
教師のスキルや態度	<ul style="list-style-type: none">・ 黒板やスライドなどの使い方は適切か？・ 話し方は適切か？・ 授業を進めるスピードは適切か？・ 毎回の授業の内容は刺激的かつ関心を引き出すものだったか？・ 説明はわかりやすかったか？・ この授業で教員は、学生が教員あるいは他の学生とコミュニケーションを取りやすい雰囲気を作ったか？
評価	<ul style="list-style-type: none">・ この授業では、扱われた内容にふさわしい課題が出題され、評価されたか？・ この授業で教員は、成績評価の観点や基準をしっかりと説明した
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none">・ これまでの課題の量は適切だったか？・ これまでの課題の内容は適切だったか？
学生自身の学習態度	<ul style="list-style-type: none">・ 教科書を予習して授業に臨んでいるか？・ これまでの授業や課題によって刺激を受け、自主的に調べたり学んだりしたことはあるか？

Feldman(1997)pp.392-395、中島（2018） p.72をもとに作成

評価結果をいつ改善に活かすか？

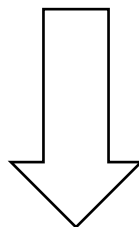
教員の授業に関する情報

同僚の教員に授業を
見てもらう



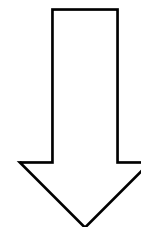
その授業中に
改善が可能

中間アンケートを
行う



結果を集計した後、
次の授業で改善が可
能

最終アンケートを
行う



結果を集計した後、
次年度の授業で改善
が可能

注意点

評価結果が自動的に改善策を導いてくれるわけでもない。

例：

授業評価アンケートで、「話すスピードが早い」と学生が感じていることがわかった



「話すスピードを遅くする」という改善策がとれる。

授業評価アンケートで、「説明がわかりにくい」と学生が感じていることがわかった



「どうすればわかりやすい説明になるのか？」はこの結果からは自動的にわからない。

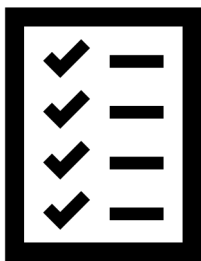
改善策が見つからない場合には

経験から学習する



自分の実際の授業実践
で試行錯誤して学ぶ

学生の意見を取り入れる



授業評価アンケートの
自由記述欄の意見を取
り入れる

同僚と話をする



他の同僚教員と
意見交換する

教育方法の本を読む



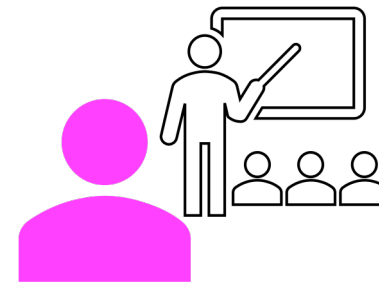
教育方法に関する書籍
を読む

研修に参加する



学内外で開催されてい
る研修（FD等）で学ぶ

良い教育実践を見る



他の教員の授業実践を
見て学ぶ

参考：教育方法に関する書籍

【全般的に学びたい時】

- 『大学教員準備講座』夏目達也・近田政博・中井俊樹・斎藤芳子，玉川大学出版部，2010.
- 『大学教員のための授業方法とデザイン』佐藤浩章編，玉川大学出版部，2010

【シラバスに関して学びたい時】

- 『授業設計』中島英博編，玉川大学出版部，2016

【評価方法について学びたい時】

- 『よくわかる教育評価』田中耕治編，ミネルヴァ書房，2010
- 『大学教員のためのルーブリック評価入門』ダネル・スティーブンス+アントニア・レビ著，佐藤浩章・井上敏憲・俣野秀典訳，玉川大学出版部，2014
- 『パフォーマンス評価』松下佳代，日本標準，2007

【具体的な授業の方法について学びたい時】

- 『講義法』佐藤浩章編，玉川大学出版部，2017
- 『アクティブラーニング』中井俊樹，玉川大学出版部，201
- 『ディープ・アクティブラーニング』松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター編，勁草書房，2015



参考文献

- Feldman, K. A. (1997). Identifying Exemplary Teachers and Teaching: Evidence from Student Ratings in Perry, P. & Smart, J. (eds), Effective Teaching in Higher Education: Research and Practice, Agathon Press, pp.369-395.
- 中島英博 (2018) 『シリーズ 大学の教授法1 授業設計』 玉川大学出版.
- 西岡加名恵 (2012) 「学力評価の方法の分類」 田中耕治編 (2012) 『よくわかる教育評価第2版』 ミネルヴァ書房、 pp.76-77.



- 連絡先

- 教育改革推進本部
- センター1号館4階 1409
- innovation@ueii.kyushu-u.ac.jp
- 担当：長沼